

漢字って感じ

自分で感じたこと、表現することに間違いはありません。全て個性ととらえることができるでしょう。感性をはたらかせることや表現することが楽しいと感じることは、科学をする上でもとても大切です。

ねらい

感性をはたらかせることや表現をすることが嫌でなくなる。
他の人の感性や表現を受け入れることができるようになる。

達成目標

- ・自分が感性を使って発見したものを大切に思えるようになる。
- ・表現することは個性であることに気づき、楽しいと感じるようになる。
- ・他の人の感性や表現も楽しめるようになる。



導入

自分で創作した漢字を大きく書いて見せ、「何と読むでしょう？ どんなことを表現したと思いますか？」と問いかける。これから実施するプログラムを説明する。

ふりかえり・わかちあい

自分で漢字を創ってみて、他の人の作品を見てみて、感じたこと、思ったことを思い返す時間をとり紹介しあう。その際、どのようにして素材が見つかったのか、自分が感じたことを表現することや発表することについて、特に焦点をあててもらうよう伝える。

本体

自然の中から面白いもの、不思議なもの、これは何だろうと思うものを感じとる。その現象がどうして起きているのか観察する。それを創作漢字で表現してみる。全員で輪になって、一人一人創作した漢字を紹介しあう。

まとめ

感じとること、表現することは個性で、恥じる必要はないこと、それ自体楽しいこと、他の人から学ぶことがあることなどのねらいを伝え、今後の活動や日常でも感性と表現を大切にするとよい、といったことを伝える。

実施のポイント

本体の所に書いた順序で作業をしてみることを、導入で上手に説明しよう。特に漢字を創る時には、「部首」を考え、起きている現象を「つくり」で表現するのがコツ。このことを導入で伝えるかどうかは、子ども達の様子を見て決める。最初に共通の部首を決めてもよい。

◆所要時間	30分
◆人数	何人でも (大人数ではグループ分けする)
◆関連教科等	総合的な学習の時間、国語
◆焦点を当てる能力	感じる、表現する、書く、 聞き入れる
◆準備するもの	ワークシート、クリップボード 用紙、マジック
◆安全のポイント	活動の範囲を指示しておく よい

評価の視点
自ら感じとることができたか、表現することを楽しんでできたか、他の人の表現を肯定的に受け止められたか、などを大切にしたい。

発展・応用
雨天時のプログラムにもなる。室内から窓の外を見て実施することもできる。

吉武 美保子 氏のオリジナルプログラムをアレンジして掲載

漢字って感じ

- ① 面白いな不思議だなというものをみつけましょう。
- ② しばらく様子を観察しましょう。
- ③ どういう現象か考えてみましょう。
- ④ 部首、つくりの順に記入しましょう。

1	2
3	4

◆読み方 1

2

3

4

年 月 日 名前

谷折り